



平成 25 年 11 月 28 日、神戸市中央区のホテル・オークラ神戸で開かれた神医協興産新社屋竣工記念式典祝賀会で挨拶する故小柴孝夫前理事長

訃報

小柴 孝夫（神戸医師協同組合理事長）

平成 26 年 2 月 10 日早朝、神戸市中央区中島通のご自宅で逝去されました。享年 82。

先生は昭和 30 年 3 月、京都大学医学部卒業後、同大学医学部附属病院外科入局、高知市立市民病院外科勤務医を経て昭和 40 年 4 月、神戸市葺合区（現・中央区）内で医院を開業、昭和 47 年 4 月に神戸市医師会理事、昭和 51 年 4 月には神戸市医師会副会長、さらに平成 10 年 4 月には神戸市中央区医師会会長に選任され、平成 14 年 4 月より神戸市医師会代議員会議長に推挙されるなど、市・区医師会でご活躍されました。その傍ら、昭和 49 年 5 月（～昭和 52 年 5 月）および昭和 57 年 5 月（～昭和 59 年 5 月）に神戸医師協同組合理事を務められた後、平成 18 年 5 月には再び当組合の会計理事、平成 19 年 7 月より専務理事、平成 20 年 5 月より理事長に就任し、当組合の発展のためご尽力いただいております。平成 24 年 11 月には長年にわたるこれらの地域医療、医師会活動、医療界への貢献などが認められ、日本医師会最高優功賞を授与されました。

ここに、先生のご遺徳を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

なお、現職理事長の急逝にともない、当組合定款の規定により恵美裕一郎専務理事が理事長に就任いたしました。

去る 2 月 12 日に告別式が執り行われましたが、4 月 10 日（木）午後 2 時より平安祭典神戸会館 6 階大ホールにおいて「小柴孝夫先生を偲ぶ会」が催される予定です。